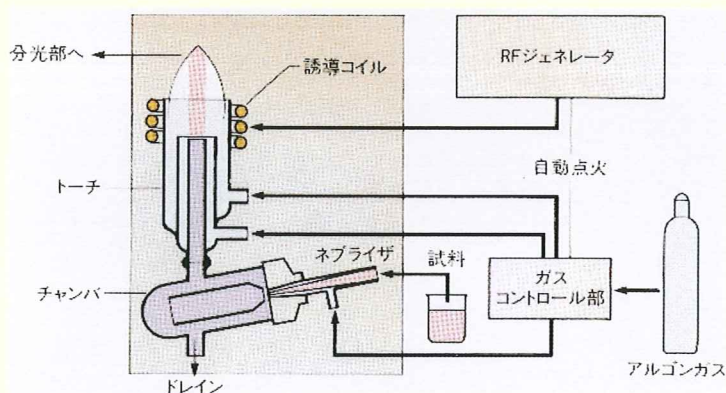


ICP発光分光分析 Inductively Coupled Plasma Atomic Emission Spectroscopy

原理

Arガスに高周波を印加して生成するArプラズマ（7000K以上）中に霧化した液体試料を導入し、プラズマ内で観測される発光を分光器で元素ごとに分光して、各元素の存在の有無（定性）あるいは発光強度から濃度を測定する（定量）。

構成



特長

- 多元素 同時／迅速分析が可能
- 高感度分析が可能
- 分析可能な元素が多い
- 原子吸光光度法で困難な、
ホウ素、リン、希土類、チタン、ジルコニウム、ハフニウム、
アルミニウム、シリコン、硫黄などの分析が可能
- 検量線の直線領域が5～6桁と非常に広い

分析例

- 各種解媒の組成および不純物分析
- 各種材料中の微量不純物分析
- 各種材料中の微量金属分析

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851